

## 令和5年度 授業計画書（シラバス）

分野	専門分野			開講時期	2年前後期	
授業科目名	成人看護学			単位数	1単位	
	成人看護学方法論Ⅴ			時間数	30時間（15回）	
	外科的療法を受ける患者の看護					
	がん治療を受ける患者の看護					
事例演習						
講師名	菅原 麻莉子	所属	岩手県立磐井病院		資格・免許	看護師免許
		職名	看護師			
講師名	後藤 彩	所属	岩手県立磐井病院		資格・免許	看護師免許
		職名	看護師			
講師名	千葉 美穂	所属	岩手県立磐井病院		資格・免許	看護師免許
		職名	看護師			
講師名	佐藤 美智子	所属	岩手県立磐井病院		資格・免許	看護師免許
		職名	看護師			
講師名	小野寺 真理	所属	岩手県立一関高等看護学院		資格・免許	看護師免許
		職名	専任教員			
事前学習内容						
テキストの授業内容に関連する部分を学習しておく						
科目全体のねらい						
外科的療法を受ける成人の、多様な健康状態や健康問題に対応するための看護実践を理解する						
がん治療を受ける人の、多様な健康状態や健康問題に対応するための看護実践を理解する						
教育目標との関連						
(3) 人間を、身体的・精神的・社会的・スピリチュアルに統合された存在として理解することができる。						
(4) 対象を、どのような健康状態であっても、社会で生活している人と捉えることができる。						
(5) 看護師としての責務を自覚し、高い倫理観をもって看護を実践することができる。						
(6) 科学的根拠に基づき、健康状態や生活の場に応じた看護を実践することができる。						
(7) 社会の特性を理解し、保健・医療・福祉チームの中で、多職種と連携・協働し、対象が希望する地域で、その人らしく、より良く生きることを支援できる。						
科目目標						
外科的療法を受ける患者の看護を理解する						
術後患者の看護を演習で実践する						
がん治療を受ける患者の看護を実践するための知識と援助方法を理解する						
回	授業内容				講師	方法
1	周術期看護の概論				菅原 後藤	講義
2	おこりやすい術後合併症の予防と発症時の対応					講義
3	自己管理、在宅療養に向けた援助					講義
4	開腹術、腹腔鏡手術を受ける患者の看護					講義
5	消化管手術を受ける患者の看護①					講義
6	消化管手術を受ける患者の看護②					講義
7	消化管手術を受ける患者の看護③					講義
8	化学療法を受ける患者の看護				千葉 佐藤	講義
9	放射線療法を受ける患者の看護					講義
10	ホルモン療法を受ける患者の看護					講義
11	事例演習①術後の離床				小野寺	演習
12	事例演習②術後の離床				小野寺	演習
13	事例演習③術後の合併症予防				小野寺	演習
14	事例演習④術後の合併症予防				小野寺	演習
15	事例演習⑤ドレーン管理				小野寺	演習
受講上の注意					評価方法	
使用するテキスト					筆記試験	
系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論・各論、がん看護学（医学書院）					外科的療法を受ける患者の看護 60点	
					がん治療を受ける患者の看護 40点	
参考文献						